

平成25年度全国公共牧場長等研修会のご案内

－ 公共牧場の経営改善のために －

(技術・運営・意識の視点から見つめ直す)

< 研修内容 >

1 公共牧場を活性化させるための放牧技術の基本

慣行で行われている放牧技術の問題点と改善点を明らかにし、放牧技術の基本を話します。

講師：落合一彦氏【(一社)日本草地畜産種子協会放牧アドバイザー、チーズ工房「那須の森経営」】

農林水産省の農業試験場等で主に放牧管理技術の研究に従事し、退官後は自ら牛を飼うとともに、本会の放牧アドバイザーとして全国各地で放牧技術の現地指導や講演等を行っています。

2 公共牧場の経営改善技術

施肥等の草地管理及び放牧技術の改善、経営管理の合理化等赤字経営を黒字経営にするためのノウハウを話します。

講師：三宅英彰氏【浦幌町模範牧場指定管理者 (株)希興代表取締役】

浦幌町模範牧場長として赤字の浦幌町模範牧場を黒字に転換し、その黒字を一般会計へ繰り出すまでに経営改善した経験を活かした経営改善のポイントについてご講演いただきます。

3 公共牧場を核にした地域活性化 (意識改革による牧場経営の改善)

公共牧場の役職員の仕事に対する取組み姿勢の改善、民間感覚への意識改革等について話します。

講師：中村哲雄氏【(一社)葛巻町畜産開発公社顧問(獣医師)、内閣府地域活性化伝道師、前葛巻町長】

くずまき高原牧場(葛巻町畜産開発公社)の職員、専務として、更に葛巻町長として公共牧場を核とした地域の活性化と公共牧場の経営改善に取り組んでこられました。

< グループディスカッション >

受講者の牧場が抱える課題・問題点について受講者間で意見交換、情報交換を行い講師陣が課題解決のための処方箋を示します。

< 研修を受けた牧場では、コスト低減等により経営改善した牧場が数多くあります。 >

< 受講者の声 >

- ◆ とにかく従来の研修とは異なり、すべてに有意義な研修であった。
- ◆ 放牧の基本的な技術の実践とそれを行う実行力がどれ程大切なのかを学んだ。
- ◆ 企業精神、コスト削減、ムダの見直し全て感銘を受けた。本当に良くしようと思う姿勢が欠けていた。
- ◆ 従来、間違った技術でどれほど無駄な経費を使っていたか認識させられた。反省あるのみ。
- ◆ 公共牧場を実際に管理された事のある先生方の話は三者三様で非常に分かりやすく、目から鱗が落ちた。
- ◆ グループディスカッションは、各牧場の良い点、改善が必要な点の検討を通して自らの牧場の改善点も把握でき大変参考になった。

日時：2014年1月30日(木) 13:00~31日(金) 12:00迄

会場：あすか会議室(神田小川町)

住所：東京都千代田区神田小川町2丁目1-7日本地所第7ビル4階

電話：03-3233-1207 <http://www.ochanomizu.net/>

受講料：無料

お問い合わせ：(一社)日本草地畜産種子協会 東京都千代田区神田紺屋町8アセンド神田紺屋町ビル

TEL 03-3251-6501 Fax 03-3251-6507 (担当：丸本)